

鹿児島県奄美地方における大雨による災害に関する対応（第5報）

平成 22 年 11 月 1 日

17 : 00 現在
国土地理院

これまでの国土地理院の対応は以下のとおりである。

1. 大雨の状況

奄美地方に前線が停滞し、この前線に向かって南から湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となっている。この影響で奄美地方では1時間に120ミリ以上の雨となった所があり、奄美市名瀬では18日21時の降り始めからの総降水量が800ミリを超えている。この大雨により、奄美市住用町で死者2名、龍郷町浦では死者1名となっており、家屋の全壊、床上・床下浸水や道路の法面崩落などの被害が発生している。

奄美地方では、1日夜から2日にかけて高気圧に覆われて概ね晴れる見込みとなっている。

2. 体制等

10月21日(木) 12時00分 注意体制

3. 国土地理院の対応

○九州地方測量部と連携し、引き続き被害情報の把握に努める

○鹿児島県奄美地方における大雨による災害に関する関係省庁災害対策会議に防災企画官(10月21日(木)、22日(金)、25日(月)、28(木))、関東地方測量部次長(11月1日(月))が出席

○地理情報の提供

奄美大島の20万分の1および市街地周辺の2.5万分の1の地形図を電子データにて関係機関に提供

○航空機による空中写真撮影

26日に撮影を実施し、奄美市名瀬の市街地および奄美市、瀬戸内町の一部をHPに公開。正射写真と写真データを官邸、内閣府、国土交通省、鹿児島県、奄美市等の関係機関に提供。

以 上